

第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた住民懇談会等の実施について（案）

1 住民懇談会・ヒアリング

(1) 実施時期

令和6年12月～令和7年1月

(2) 対象・実施方法等

団体名	回数	実施方法	備考
豊田市区長会（以下、「区長会」という。）	1	ヒアリング	四役会
豊田市民生委員・児童委員協議会 （以下、「民児協」という。）	1	ヒアリング	常任理事会
地区コミュニティ会議福祉部会長	1	懇談会	集合型で実施
豊田市社会福祉協議会（以下、「社協」という。） 支所推進委員会	6	懇談会	社協支所ごとで実施
子ども（18歳未満）	1	懇談会	高校生等

(3) 考え方

① ヒアリング

- ・区長及び民生委員・児童委員全員に対しアンケートを実施するため、アンケート結果を踏まえた仮説の確認・裏付けとして区長会四役会・民児協常任理事会にヒアリングを実施する。

② 懇談会

- ・住民アンケートだけでは拾いきれないニーズや意見を収集するため、地区コミュニティ会議福祉部会長会議や、各社協支所で支所推進委員会を開催し、グループワークにて意見聴取する。
また、アンケートが18歳以上のため、子ども（18歳未満）へニーズや意見収集をする。

(4) 内容

① ヒアリング

- ・アンケートの速報値（報告）
- ・意見聴取
 - ア つながりあい（助け合い、支え合い、居場所、孤独・孤立、身寄り、意思決定支援）に必要なこと
 - イ 担い手づくりに必要なこと

② 懇談会

- ・アンケートの速報値（報告）
- ・グループワーク

[グループワークで使用する表のイメージ]

	つながりあい (助け合い、支え合い、居場所、 孤独・孤立、身寄り、意思決定支援)	担い手づくり
必要なこと ※アンケートに加えて もしくは優先順位づけ		
住民だからこそできること		
社協・行政に期待すること		

※付箋に意見を書き、貼っていただく。

[参考 ※第2次計画策定時の住民懇談会 概要]

参加者	自治区長・役員、民生委員・児童委員、地区コミュニティ会議、自主防災会、 高齢者クラブ、地域包括支援センター職員・福祉施設職員など	
開催地区と 参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・猿投コミュニティセンター（猿投台・井郷・猿投・保見・石野） ・福祉センター（崇化館・梅坪台・浄水・朝日丘・逢妻・豊南） ・高橋コミュニティセンター（高橋・美里・益富・松平） ・市役所足助支所（藤岡・藤岡南・小原・足助・下山・旭・稲武） ・高岡コミュニティセンター（末野原・上郷・竜神・若林・前林・若園） 	79人 70人 92人 84人 87人
実施時期	令和元年8月20日～8月29日	
実施方法	本計画の基本目標1～3（P46参照）について、以下のテーマで意見出しと検討を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・取組を進めていくのに必要なこと ・住民だからこそできること ・地域だからこそできること ・専門職（行政・社協・事業所など）が担うこと 	



第2次計画策定時の住民懇談会の様子



コミュニティ会議福祉部会長等情報交換会の様子

2 ワークショップ

(1) 実施時期

令和6年10月～令和7年2月

(2) 内容

国の動向や社会情勢の変化等を踏まえ、テーマを設定し、意見交換を行う。

(3) テーマ

① 地域福祉人材センター（別紙1）

ア 専門（介護）人材

イ 地域人材

② 身寄りのない方の支援（別紙2）

※ 専門職としてできることなどを検討するワークショップも検討中

【参考 ※第2次計画策定時のテーマ別ワークショップ 「ボランティアセンター機能強化に向けたあり方検討会」 概要】

参加者と参加人数	・ボランティア活動者 160人 ・中間支援組織（とよた市民活動センターなど） 14人 ・企業 17人 ・福祉施設職員 33人 ※4回開催の延べ人数
実施時期	第1回 令和元年7月25日 第2回 令和元年8月27日 第3回 令和元年9月17日 第4回 令和元年10月10日
実施内容	各回、以下のテーマで意見出しと検討を行いました。 第1回 理想とするボランティアセンター像について 第2回 ボランティアセンターの強み、弱み 第3回 ボランティアセンターが担うこと ボランティア活動者だからこそできること 第4回 ボランティアセンター機能強化に向けたあり方検討会の報告、機能強化の方向性 基調講演「ボランティアセンターのこれから」



ボランティアセンター機能強化に向けたあり方検討会の様子